

No.16 2016-2 発行

● **先天性心疾患診断、治療の拠点病院として** ●



(写真左から小児心臓血管外科医師 荒木幹太、石丸和彦、小児科医師 中村常之、秋田千里)

金沢医科大学病院

小児心臓血管外科 石丸和彦准教授

金沢医科大学小児心臓血管外科は、中村常之准教授を中心とした小児循環器内科の先生方とともに極低出生体重児から成人まで先天性心疾患（生まれつき心臓病を持つ子供たち）と向きあい、診断ならびに治療を行ってきております。石川県では、統計学的には、年間約 9500 人の赤ちゃんが出生し、そのうち 95 人/年の先天性心疾患患者が出生することとなります。石川県内ならびに北陸地方を中心とした先天性心疾患患者に対してのこれまでの取り組み、ならびに今後の展望を説明いたします。

[手術への取り組み]

先天性心疾患に対する外科治療は多岐にわたります。大きく分けると、人工心肺装置を使用し、心停止下で行う開心手術ならびに人工心肺を使用しない姑息手術（非開心術）に分けられます。個々の疾患によるのは当然ですが、同じ疾患であっても各患者により術前状態が多種多様であるため、各患者ごとに術前の心臓超音波検査および心臓カテーテル検査を施行して頂いている小児循環器内科の先生方とカンファレンスを行い、治療方針を決定しております。手術成功の要因の大半は、術前計画であり、また不測の事態が発生した際の術式変更のオプションをどれだけ多く持っているかが大切と考えます。そのため、この手術方針の決定は、たとえ緊急手術であっても重点的に行います。

(問い合わせ先)

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学一丁目一番地

TEL 076-218-8219 FAX 0120-076-286

金沢医科大学病院

地域医療連携事務課

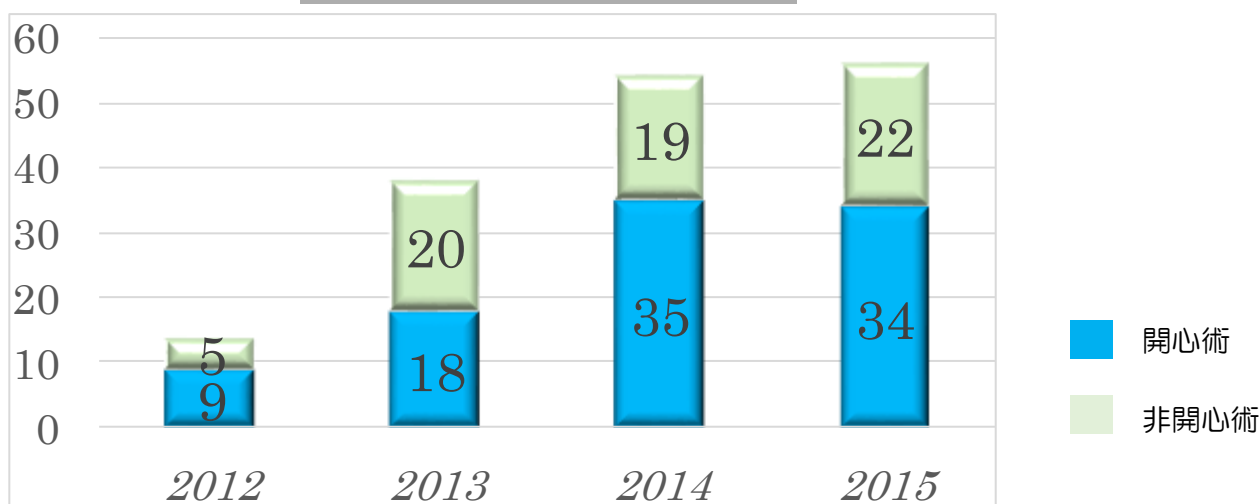
regional@kanazawa-med.ac.jp

Kanazawa Medical University Hospital

[当院での手術件数]

2012年度より本格的に小児心臓手術を再開し、限られた手術枠とマンパワーの中、年々増加傾向にあります。この中には、心室中隔欠損、心房中隔欠損からファロー四徴症、完全大血管転位、左心低形成症候群などの複雑心疾患、希少な症例まで多様な手術を施行しております。

小児心臓外科手術症例数の推移



[今後の展望]

手術症例数を増加するためには、我々小児心臓血管外科医が、今まで以上に手術時間の短縮、低侵襲手術、無輸血手術ならびに新しい手術術式の導入を積極的に行うことは言うまでもありません。当院では、術後早期の人工呼吸器離脱、一般病棟への帰室、早期退院を目標に、小児循環器内科医師、麻酔科医師、臨床工学技士および看護師をふくめたコメディカルの方々の強力なバックアップがありますので、今後も彼らとしっかり連携をとり、より強力なチーム治療を継続して行っています。

今年4月より当院の診療科再編が行われ、小児循環器科チームとともに小児循環器部門が設立します。今後も先天性心疾患診断ならびに治療施設として、北陸地方の拠点となるべく県内ならびに県外からの緊急搬送にも積極的に対応していきます。

(問い合わせ先)

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学一丁目一番地

TEL 076-218-8219 FAX 0120-076-286

金沢医科大学病院

地域医療連携事務課

regional@kanazawa-med.ac.jp

Kanazawa Medical University Hospital